## 山田養護学校が福祉避難所に

▲協定書に調印する関係団体の代表者

４月２５日、県立山田養護学校（土佐山田町原西）で災害時における広域福祉避難所（知的・発達障害児者）の設置運営に関する協定の締結式が行われました。

協定は山田養護学校と香美市・南国市・香南市・大豊町の間で結ばれました。この協定により、大規模災害が発生した場合、自治体の要請に応じて、山田養護学校に特別な支援などが必要な障害者に対応するための福祉避難所が設置されます。このほか市内では、かがみの育成園・障害者支援施設白ゆり・ワークセンター第二白ゆりに広域福祉避難所（知的・発達障害児者）が設置されます。

## 舟入ファイターズ 春季大会３位

３月２３日～２６日にかけて開催された**第３９回高知県少年野球春季選手権大会**で、舟入ファイターズが初戦から準々決勝まで完封勝利を収め、３位入賞を果たしました。

この大会は室戸マリン球場をメイン会場とし、県内の６２チームが出場しました。関係者は「チームは１４名と決して多くないが『心を一つに勝利に向かって、最後まで諦めない！全員野球』を胸に、みんなで声を出して、練習に励んだ成果だ」と話しました。

## 大栃駐在所落成

４月２４日、香美署大栃駐在所が建て替えられ、開所式が行われました。地域住民は「地域安全の向上につながってくれると良い」と期待を寄せていました。

## 桜５０本を 卒業記念植樹

３月１５日、鏡野公園で片地小６年生が卒業記念に約５０本の桜を植樹しました。

この記念植樹は、鏡野公園の利用促進を図る**鏡野公園クリーンアップ推進協議会**（高知工科大学・県土木部・香美市・公園利用団体等）の主催で行われました。植樹の費用は地域貢献・交流の観点から高知工科大学後援会が負担しています。

▲植樹を行う片地小の卒業生





# 平成２５年 春の叙勲 第２０回 危険業務従事者叙勲

平成２５年４月２９日に発令された、平成２５年春の叙勲と第２０回危険業務従事者叙勲の市内の受章者を紹介します。

### 春の叙勲 瑞宝小綬章（教育功労）

**時久（ときひさ） 公郎（こうろう）さん（７０歳）**
土佐山田町須江

時久さんは、昭和４０年４月に安芸高校で数学の教諭として採用され、平成１５年３月に室戸高校校長を最後に、退職されました。

昭和６０年から１０年間、山田高校の教壇に立たれており、「地元に帰り、地元の子どもを育てる機会をいただけて良かった」と話されました。

校長を務められた室戸高校での５年間を「地域の協力がありがたかった。多くの方の支えにより成長していった野球部が懐かしい」と振り返り、県内初の総合学科設置校としての体制づくりに努められ、新設された工業・福祉系の生徒の就職先や進学先の開拓に尽力されました。

### 危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章（警察功労）

**前田（まえだ） 健彦（たてひこ）さん（７１歳）**
土佐山田町西本町

前田さんは、昭和３５年４月、高知県警に採用され、警察学校修了後、昭和３６年４月から昭和４５年３月まで旧山田署で勤務されました。在職中は、交通畑を回られ、高知署・県警本部などで勤務され、平成１４年３月に高知警察署地域課総括係長（警部）を最後に退職されました。

前田さんは警察官になるきっかけを、「高校２年生のときに自転車の盗難に遭ってから意識し始めた」と話され、高知署で暴走族の特捜班の責任者を務められた際には、本音で逮捕した少年たちと向き合い、更生した少年たちからは結婚式の案内状が届いたそうです。

### 危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章（警察功労）

**門脇（かどわき） 正雄（まさお）さん（７０歳）**
土佐山田町楠目

門脇さんは、昭和３７年４月、高知県警に採用され、警察学校修了後、室戸署・県警察本部などで勤務され、平成１６年３月に県警察本部交通指導課通告第一係長（警部）を最後に退職されました。

在職中は交通畑を回られ、交通機動隊に所属したこともあり、白バイやパトカーに乗り、違反者の取り締まりに努められました。「昭和４０年代は車社会になり、急速に交通事故が増えてきた。幼い子が亡くなっている現場を見ると、わが子が交通事故に遭ったような気持ちになり、つらかった。事故に直結するような違反の取り締まりを重点的にやってきた」と話されました。

### 危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章（防衛功労）

**大峰（おおみね） 龍男（たつお）さん（６１歳）**
土佐山田町前山

大峰さんは、昭和４７年３月、海上自衛隊（広島県呉市）に入隊され、射撃員として護衛艦で勤務され、平成１８年２月に第１術科学校厚生課を最後に退職されました。

大峰さんは「洋上において、外国の船舶から敬礼（国旗を半分降ろす）を受けた時は、日本人としての誇りを感じた。護衛艦＝日本国が動いているという気持ちで働いた」と隊員としての心構えを話してくれました。また、昭和６３年から８年間、第１術科学校（広島県江田島市）で教官を務められており、「若い隊員を一定のレベルまで育て上げる必要がある」とご労苦を聞かせてくれました。